

令和2年度(2020年度)

管理事業名	文化財保護事業				総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 2	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化財の保存と活用
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 7	文化財保護費
部局名	地域教育部	予算執行所属	文化財保護課				
予算大事業名 文化財保護事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育費(目)旧西尾家住宅大規模修繕基金積立金 (大事業)文化財保護事業						
事業の目的と概要 ・文化財保護事業 埋蔵文化財の発掘調査を実施し、出土した遺物等の整理作業を行い、報告書等の作成を行います。有形文化財等市内に所在する文化財についても調査を行い、その成果をまとめて報告書を作成します。また、文化財を保護し保存・活用等をはかるため、教育委員会で管理する史跡等の管理に努め、啓発を行うとともに、指定・登録文化財の所有者等に補助金を支出します。 ・旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業 歴史的・文化的価値が高い建物の保存と文化財としての価値や味わいを生かした活用をはかります。 ・旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用事業 旧中西家住宅の保存・公開並びに調査・研究・活用をはかります。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
施設入館者数	人	1,583	1,927	567	施設が主催する事業の参加人数及び入館者数
旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)		834	49	137	
旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)		749	1,878	430	
開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数	件	96	95	75	開発工事等に伴う埋蔵文化財調査・立会及び文化財調査件数
指定・登録文化財総数		67	71	74	国、府及び市の指定・登録文化財総件数
成果の説明	・旧西尾家住宅は、平成30年の大阪府北部地震と台風21号による被害のため、令和元年度は、約4か月しか開館できず大幅に入館者数が減少しました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、旧西尾家住宅、旧中西家住宅とも約4か月の臨時休館があり、さらに観覧者の密を避けるため受入定員も減らしたため両館とも入館者は減少しています。 ・開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数については埋蔵文化財の発掘調査、工事時の埋蔵文化財の立会、市内に所在する有形文化財等の調査の合計件数で、年間約100件前後ありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響か例年より件数が減少しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	1,278	1,000	8,386	7,386
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	118	5,028	5,551	523
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	109	130	39	△91
経常収入 小計(a)	1,505	6,158	13,975	7,818
給与関係費	88,508	83,323	78,080	△5,243
物件費	20,227	31,169	32,975	1,806
維持補修費	1,246	4,993	1,147	△3,846
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3,772	2,221	1,519	△702
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	23	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,878	5,435	5,259	△176
退職手当引当金繰入額	5,065	△265	△2,355	△2,091
支払利息	0	0	9	9
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	124,719	126,877	116,635	△10,242
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△123,213	△120,719	△102,659	18,060
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	16,987	-	-	-
特別支出 小計(e)	16,987	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△16,987	-	-	-
一般財源調整額(g)	△0	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△140,201	△120,719	△102,659	18,060
一般財源充当額	127,874	128,003	113,375	△14,628
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△12,327	7,283	10,716	3,432

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金	重要文化財建造物修理事業費補助金の増 7,386千円
給与関係費	主に無給休職者1名の人件費の減
維持補修費	主に旧西尾家住宅瓦修繕の減 3,543千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,505	6,158	13,975	7,818
行政サービス活動支出	142,656	132,657	123,838	△8,819
行政サービス活動収支差額	△141,150	△126,500	△109,863	16,637
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	5,003	5,534	531
投資活動収支差額	-	△5,003	△5,534	△531
財務活動収入	13,300	3,500	3,500	-
財務活動支出	24	-	1,478	1,478
財務活動収支差額	13,276	3,500	2,022	△1,478
収支差額 合計	△127,874	△128,003	△113,375	14,628
一般財源充当額	127,874	128,003	113,375	△14,628
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)埋蔵文化財緊急調査費補助金1,000千円、重要文化財建造物修理事業費補助金7,386千円、指定寄付金5,551千円、他38千円(財務活動収入)文化財保存事業債3,500千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入館者1人当たりのコスト	平成30年度	1,583人	31,045円	令和2年度は、旧西尾家住宅、旧中西家住宅とも新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、臨時休館が約4か月あり、受入定員も縮小し、来館者は大幅減となり、単位あたりコストが大幅に増加しました。(各経常費用15,847千円、14,781千円の合計30,628千円を入館者数で割って算出)
	令和元年度	1,927人	29,304円	
	令和2年度	567人	54,018円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	6,913	6,857	△55
未収金	-	-	-	地方債	1,478	1,599	121
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,435	5,259	△176
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	913,320	913,320	-	固定負債	69,809	64,683	△5,126
有形固定資産	913,320	913,320	-	地方債	15,322	17,224	1,901
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	0	0	-	退職手当引当金	54,487	47,459	△7,028
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	151	151	-	負債の部合計	76,722	71,540	△5,182
固定資産	-	-	-	純資産	841,752	852,468	10,716
インフラ資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	5,003	10,537	5,534				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	5,003	10,537	5,534				
徴収不能引当金	-	-	-	純資産の部合計	841,752	852,468	10,716
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	918,474	924,008	5,534	負債及び純資産の部合計	918,474	924,008	5,534

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

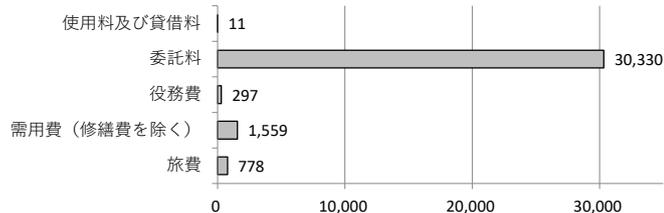
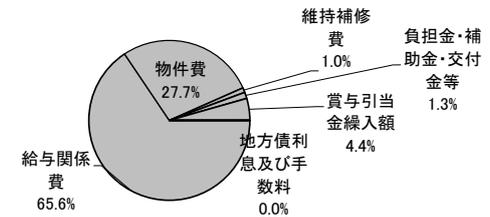
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	8人	1680日	0日	合計(千円) 80,984
給与関係費等	54,542千円	26,441千円	0千円	
内、時間外勤務手当	900千円			

貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
基金	旧西尾家住宅大規模修繕基金 5,534千円増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		89.6	93.0	86.6	△ 6.4

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【貸借対照表】

文化財保護事業は、913,320千円(土地)の固定資産を有しています。

【行政コスト計算書】

経常費用は116,635千円であり、最も大きいのは給与関係費の78,080千円、次に大きいのは物件費32,975千円、次が賞与引当金繰入額5,259千円となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・旧西尾家住宅は、建物等は国指定重要文化財で、庭園は国登録記念物(名勝)であり、現在国所有で管理を吹田市が行っています。建物は明治26年(1893)~大正年間にかけて建築されたもので、これまで日常的に修繕を行ってきましたが、平成28年度から平成29年度にかけて耐震診断を実施した結果、大規模な解体修繕が必要と判断されました。その後、平成30年度に発生した大阪府北部地震及び台風21号により多大な被害を受けたことから、被害実態や令和元年発足の旧西尾家住宅修理専門会議での検討結果を踏まえて、令和2年度以降約10年をかけ大規模修繕工事を行っていきます。また、平成31年4月に旧西尾家住宅大規模修繕基金を設立しました。今後は広く基金への寄附を募り財源確保に努めます。

・旧中西家住宅は、建物等は市指定有形文化財及び国登録有形文化財であり、庭園は国登録記念物(名勝)となっています。建物等は江戸時代後期から明治時代に建築されたものです。現在は日常的に修繕を行っていますが、新たに建物屋根・柱に損壊部分を確認されたのをはじめとして、平成30年度に発生した大阪府北部地震及び台風21号により多大な被害を受けたことから、令和元年度に耐震診断、令和2年度に建物破損調査を実施しました。今後は、それらの結果を踏まえて将来的に大規模な解体修繕等を行うか検討していく必要があります。

・埋蔵文化財の調査は大半が民間の開発に伴う緊急調査であり、調査の事業量全体の把握が困難です。また、大規模な開発も多く現在の人員体制ではその対応が難しくなっています。有形文化財等の調査は所有者等の協力が必要ですが、文化財に対する理解は高いとはいえず、継続して文化財保護の啓発を推進することが必要です。